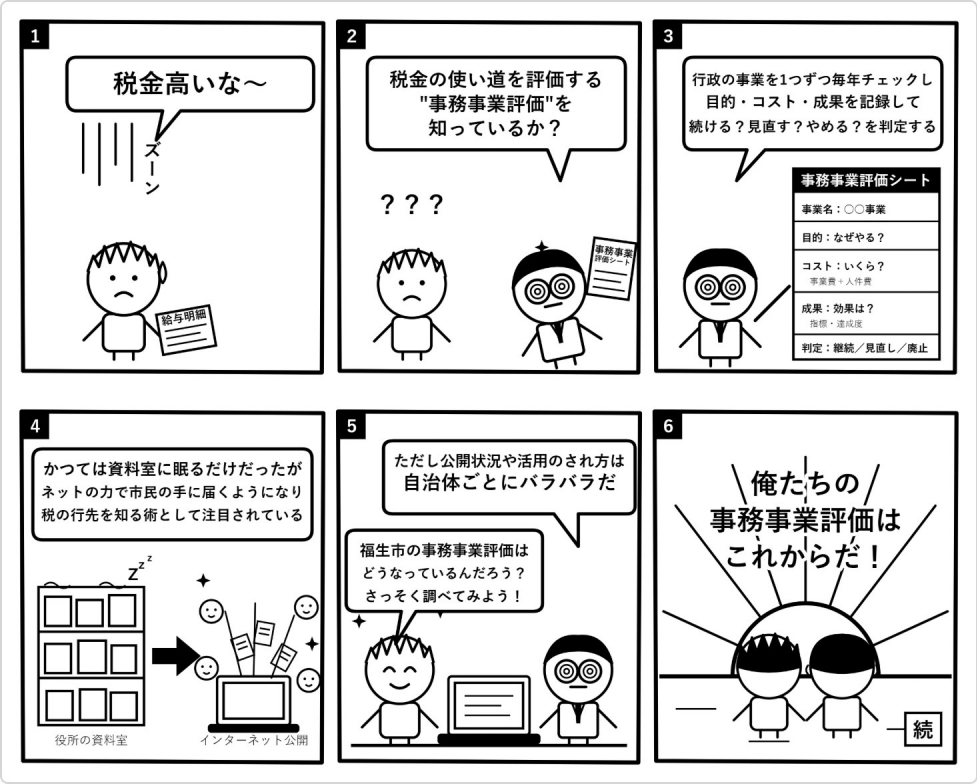
市の仕事を見やすく、透明性の高いものに。

福生市には約420の事業があります。一つひとつに、いくら使い、何人が利用し、続けるべきか。市が公開している資料だけで、事務事業評価を中心に5年分を調べました。



見えてきた福生市の状況(例)

75事業
5年間一度も評価されていない
金額にして約100億円。事業費の約4割

0件
5年間の縮小・廃止の判定
廃止になった1事業も、判定は「改善」のまま課が自ら決めた

55万円
市民1人あたりの歳出（年）
10年で約3割増えた。多摩26市の平均44万円よりも割高

事務事業評価（じむじぎょうひょうか）って、何？

自治体が、自分の仕事を事業ごとに自分で採点する仕組みです。1990年代後半に全国に広がり、福生市も毎年行っています。長いあいだ、評価の調書は役所の資料室に置かれてあるだけで、読む人はほとんどいませんでした。今ではインターネットで公開され、だれでも自宅で読めます。たとえば「高齢者のスマホ体験教室：年785万円、参加51人（1人あたり約15万円）」。**市の仕事を点検する材料は、もう市民の手元にあります。**

裏面 → 福生市の評価はどう動いているか：3つの課題と3つの提案

出典：福生市 令和6年度予算書・決算説明書、令和3～7年度 行政評価対象事業一覧・評価調書、行政評価の評価方法、指定管理者選定結果、決算カード（平成27～令和6年度）、東京都「市町村決算状況調」（令和5年度）。
特定の人や団体の不正を指摘するものではなく、公開資料から市民が確かめられない点と、見直しが働きにくい仕組みを示しています。
詳しい資料と全事業の一覧は下記のWebサイトから。

発行・お問い合わせ
梶原 元 福生市民
TEL 080-3233-1310　MAIL kajiwaragenzei@gmail.com　WEB kajiwaragenzei.com

福生市の評価は、どう動いているか

令和3〜7年度の5年分を予算書・決算書と突き合わせると、福生市の事務事業評価が「届いていない」「分かりにくい」「効いていない」という3点の課題が見えてきました。

なぜ、いま点検が大事なのか

小さな市でも市役所・議会・消防・ごみ処理は一式必要なので、市民1人あたりの行政コストはもともと割高です（年55万円、多摩26市平均は44万円）。この10年で人口は減ったのに、1人あたりの歳出は約3割増。市税は5%しか増えておらず、差額は国と都のお金で埋めています。人口がさらに減る中、事業ごとの点検が働いているかが市の将来を左右します。

1 評価が届いていない → すべての事業を2年に1度評価する

5年間一度も評価されていない事業が75。「法定・義務」「財務」に分類された事業で、約100億円。事業費の約4割。

市の判断で額が決まる支出も入っている。国民健康保険への「法定外」の繰入れ6.8億円は市が決めた額だが、評価されたことがない。

市に求めること

法定の事業も含め、すべての事業を2年に1度は評価する。給付額は国が決めても、やり方と費用は点検できる。

市の判断で額が決まる支出は、その根拠を毎年説明する。

2 評価が分かりにくい → すべての事業の評価を一覧で公開する

どの事業が評価されていないか、一目で分からない。公開されるのは「その年に評価した事業」の一覧だけ。未評価の75事業は、5年分を予算書と突き合わせて初めて分かる。

評価を引き上げた理由が確かめられない。「改善が必要」とされた44事業のうち25事業が、見直しで「継続」に戻された。理由は「臨時的経費の影響のため」など一句だけ。

市に求めること

全事業の一覧に最新の評価結果を載せ、評価していない事業は「評価なし」と書く。

評価を変えた事業は、変更前後の点数と理由を、金額を含めて公開する。

3 評価が効いていない → 見直しが実際に起きる採点に改める

5年間、「縮小」「廃止」の判定はゼロ。唯一廃止になった事業（年70万円）も、評価は「改善」止まりで、担当課が自ら決めた。

そもそも「縮小」が出ない採点。目標を持たない93事業には「目標達成」と同じ点が自動で付く。目標に届かない事業が54%あっても、判定はほぼ「継続」。

市に求めること

目標を持たない事業に自動で高い点を付けない。2年続けて未達なら、縮小・廃止を含めて検討し、結論を公開する。

くじで選んだ市民が事業を点検する。市議会は決算審査で評価を使い、公開の場で質疑する。

この3つに、新しい予算はほとんど要りません。資料の作り方と評価のやり方を変えればできることです。一方、点検の対象は年300億円を超える歳出。見直しが実際に起きれば、必要性の高い事業の充実、減税、債務圧縮につながります。

より詳しい内容はこちら
kajiwaragenzei.com/fussa-hyouka/